

食料生産環境学科の学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

【農村地域デザイン学コース】

食料生産環境学科農村地域デザイン学コースの教育目的に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身に付けた学生に「学士(農学)」の学位を授与する。

(知識・理解)

1. 自然科学や情報技術および地域文化に関する基礎知識を身につけている。
2. 農村地域デザイン学の基礎・応用分野の知識を身につけている。

(思考・判断)

3. 地域の問題点と課題を理解し、生産環境と地域社会の計画・設計の在り方を考察できる。
4. 自ら課題を見つけ、計画を立て、自分の考えをまとめ、積極的に表現することができる。

(関心・意欲)

5. 地域の生産・生活基盤の充実と環境改善に対する関心を持ち、解決の意欲がある。

(態度)

6. 技術者としての社会的責任の重さを自覚している。

(技能・表現)

7. 地域・現場の人達と良好なコミュニケーションを図る能力がある。
8. 文章や口頭発表による表現力を身につけている。

【食産業システム学コース】

食料生産環境学科食産業システム学コースの教育目的に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身に付けた学生に「学士(農学)」の学位を授与する。

(知識・理解)

1. 食産業に関わる諸問題を理解するために必要な自然科学、情報技術および地域社会に関する基礎知識を身につけている。
2. 食料安定供給と環境負荷低減の両立や農業の6次産業化の推進など、次世代の食産業システムの構築に関する広範な知識を有している。

(思考・判断)

3. 食産業に関する知識と理解を基礎に、関連する諸課題に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめ、行動することができる。

(関心・意欲)

4. 食産業について多面的な関心を持ち、技術や経営の革新を通じて諸課題を解決しようとする意欲を持っている。

(態度)

5. 食産業における技術開発や経営活動において、協調性と倫理性をもって、自律的に行動できる。

(技能・表現)

6. 自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を修得している。

【水産システム学コース】

食料生産環境学科水産システム学コースの教育目的に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士(農学)」の学位を授与する。

(知識・理解)

1. 水産システム学を実践するための数学、自然科学、社会科学、コミュニケーション(日本語・英語)に関する基礎的知識を身につけている。
2. 水産業の復興と持続的発展に貢献するために、水産科学分野に加えて、水産業に関わる人文・社会科学分野までの幅広い関連分野を網羅した水産システム学を体系的に身につけ、水産業の現状とその課題を俯瞰的視点から理解できる。

(思考・判断)

3. 水産業が抱える諸課題について多角的に分析、俯瞰的に思考し、最善の解決策を判断できる。

(関心・意欲)

4. 日本と世界の水産業の持続的発展の諸課題に関心を持ち、問題解決に意欲的に取り組むことができる。

(態度)

5. 水産業に関わる専門家としての高い倫理観を持ち、真摯に責任をもって持続的水産業構築の諸課題について積極的に携わる態度を持つ。

(技能・表現)

6. 漁業及び周辺産業、海洋環境や水産資源管理の現状把握と分析のための基礎的な技術を身につけている。
7. 調査や統計データを的確に分析・利用する技術、結果に基づく論理的な思考能力、および得られた結果を的確に伝えることが出来るコミュニケーション力(プレゼンテーション、日本語、英語)を身につけている。